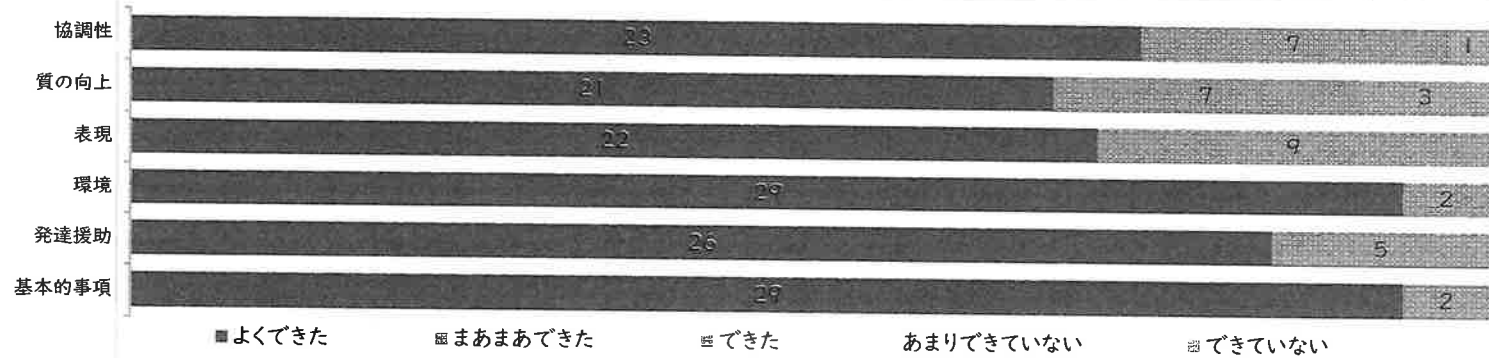


# 自己評価（保育士） ※一部抜粋

要素	評価項目	自己評価				
		よくできた	まあまあできた	できた	あまりできていない	できていない
基本的事項	保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか	29	2	0	0	0
発達援助	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか	26	5	0	0	0
環境	保育士の言動一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか	29	2	0	0	0
表現	言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるような読み聞かせを行っていますか	22	9	0	0	0
質の向上	子どもたち一人一人の記録から課題を見つけ保育につなげることが出来ますか	21	7	3	0	0
協調性	笑顔を大切に肯定的な姿勢（言葉・態度）で業務を行っていますか	23	7	1	0	0



自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 危険行為についてしっかりと皆で共有し考える時間を作ることができた</li> <li>★ 子どもの体調や精神状態にも気を配り様子を見ることができた</li> <li>★ 戸外遊びや散歩などを多く取り入れ子どもたちがしっかりと体を使って遊べるような保育を行うことができた</li> <li>★ 安全面の十分な配慮・子どもの成長・印象的なやりとりなど保護者にしっかりと伝えることができた</li> <li>★ 子どもがケガをしないよう環境面での配慮など気を緩めず今後もやっていきたい</li> <li>★ コロナ禍の中で子どもたちの急な体調の変化に気をつけて注意深く見守ることができた</li> <li>★ コロナで制限のある中今できることに集中して保育に取り組むことができた</li> <li>★ 他の職員と連携をとりながらクラス運営ができた</li> <li>★ コロナ禍の中いろんなことにチャレンジできたことがよかった</li> <li>★ 報道で見る保育園の事件や事故を見るたび胸が痛くなった</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 予定していた計画を変更することがあった</li> <li>★ 子どもの気持ちに寄り添う言葉かけを丁寧に行う</li> <li>★ 周りの子に危険が及ぶような時つい大きな声を出してしまうことがあった</li> <li>★ 皆さんの大切な命をお預かりしているということを忘れず、命を危険にさらしてしまうことのないようさらに気をひきしめて保育にあたっていく</li> <li>★ どんな場面でも保護者に誤解を与えない保育を行うことの大切さ</li> <li>★ 一人一人同じカリキュラムではうまくいかないことがあることに気付いた</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 一人一人の性格や発達状況をしっかりと把握したうえで対応を変えていく</li> <li>★ 申し送りを丁寧に行い連携が常にとれるようにする</li> <li>★ 全ての子と平等に関わっていくことの難しさ・発達の違いがある中で障がいを持った子への理解を深めたい</li> <li>★ 集中力が身につく活動を取り入れたい。安心・安全の中で子どもたちを保育していく意識を常に持つ</li> <li>★ 保育の仕方や対応にすぐに順応することができず、他の先生から何度も同じことを言われたり自分も聞き直したりしていたので記録に残し行動することを心がける</li> <li>★ 子どもは友達との関わりの中でトラブルを通して成長していくので適切に冷静に声かけと仲介を行う</li> <li>★ 常に子どもファーストで子どもが楽しいと思うような保育を常に考えていく</li> <li>★ 他の先生方だのみにならず、まず自分から動くことを意識する</li> </ul>